



2019～2020年度

国際ロータリー第2790地区

# 君津ロータリークラブ週報

例会日 毎週月曜日  
12:30PM～13:30PM  
例会場 ホテル千成  
Tel:0439-52-8511

事務局  
〒299-1144君津市東坂田1-3-3-304  
Tel:0439-52-8882  
Fax:0439-20-8880

Vol. 27 No.2119 2020.6.15

令和2年6月 第2例会 曇

開始点鐘 内山貴美子会長  
R ソング 我らの生業  
四つのテスト 内山 雅博会員  
会 員 日野 千博(山九(株))

【出席報告】 免除者3名 休会0名

例会数	会員数	対象者	出席	欠席	出席率
2119	58	55	42	13	76.36 %
2118	58	55	44	11	80.00 %
前々回の修正		メイクアップ 名			61.82 %

(敬称略)

## 会長挨拶及び報告

内山貴美子会長

毎週の会長挨拶にどのようなことを話そうかと色  
いろいろ苦戦いたしましたがいよいよ今日で最後と  
なりました。

コロナという字はカタカナのコとロとナを組み合  
わせると君という字になるそうです。これは私に  
とってとても衝撃でした。ですから君のコロナとは  
これからも継続して共存していかなければならぬ  
ということなのだと考えます。

太宰治の小説「斜陽館」の中に「おむすびが、ど  
うしておいしいのだから、知っていますか？あれは  
ね、人間の指で握りしめて作るからですよ」とあり  
ます。ですからおにぎりは人の温もりが感じられ心  
が温まります。と一節にあります。私も人の手の温  
もりは大変大切であると考えます。

私たちは、コロナ禍や災害等により困難にあっ  
た時、会員一人一人がそれぞれの職業のスキルを  
共有してお互いの困ったことを相談し合い、助け合  
い共にロータリーの手を繋ぎながら、友情を深め、  
共におにぎりをほおばりながら、おにぎりを握り、  
ほおばっている人の笑顔を見るために心温まるロー  
タリー活動を続けていかなければならないと思いま  
す。

私なんて会長にはとてもなれないと考えていま  
したが、なってしまうと無事何とか終わることができ  
ました。これもロータリー会員の皆様のご指導とご  
協力によるものだと思います。

私にとってのロータリー活動は、本当に大変貴重  
な1年でした。皆さんにとっても令和初めての年度  
で、台風あり、コロナ禍ありで忘れられない年度で  
あったのではないのでしょうか？

次年度は荒井年度です。「今さら」の「さ」を  
「か」に変えて「今から」更なるロータリー活動へ  
挑戦しましょう！

これからもロータリー活動頑張りましょう！

## 報 告

### 1. スリランカへの寄付について

新型コロナウイルスの影響で、全土に外出禁止令が  
発せられ、食糧の調達が厳しく制約されているとの  
ことで、コスモス奨学金より寄付のお願いがありま  
した。先週に引き続きご賛同していただける方は、  
募金箱を回覧しますのでご協力お願いいたします。  
1,000円でお米16キロ購入出来ます。(募金62,172円  
集まりました)

## 幹 事 報 告

武田富士子幹事

### 〈配布物〉

1. 例会プログラム
2. 次年度年間プログラム・次年度委員会構成表  
\*名前、誕生日・記念日等、間違いがありましたら、  
事務局 高島までご連絡下さい。(次年度活動計画  
書の配布は、7月20日(月)の例会です)

### 〈報 告〉

1. 本日は今年度最終例会です。次回は7月6日(月)より  
次年度が始まります。宜しくお願いします。

### 〈回 覧〉

1. 君津RC週報・第5グループ週報
2. 直前会長・幹事慰労夜間例会及び会員歓送迎会の

## 出欠の案内

3. スリランカ コスモス奨学金 食糧支援の様子
4. ハイライトよねやま(Vol243)

## 入会者紹介

山九(株) 日野 千博様  
紹介者 谷口 弘志会員

みなさん、こんにちは。

今日は山九株式会社の新支店長 日野(ひの)千博(ちひろ)さんの入会にあたり、ご本人の略歴やお人柄をご紹介します。

本日、私が日野さんのご紹介の大役を仰せつかったのは、東日本製鉄所君津地区の設備部門の仕事で部長と事務局(次)長との関係で過去3年間一緒にさせていただいていること、また前任者の前田支店長からも是非にとのご依頼があった為であります。

まずお誕生日は1965年(昭和40)9月3日生まれの54才、広島県広島市安芸区のご出身です。1989年(平成元年)4月に山九株式会社に入社され、初任配属は君津支社の製銑整備グループです。それ以降、今年4月の君津支店長就任までの約31年間は、君津支店内の各部門の仕事を幅広く従事されて来ました。生まれた地域こそ違いますが、会社人生において君津地区の風土を熟知された生え抜きの君津人であり、君津愛に溢れ、君津ロータリーのメンバーに相応しい方だと思っております。

ご本人は小職と違って、単身赴任の経験が無く、奥様と1男2女のお子さんと同居されているとのこと、しかも、ご長男は山九株式会社で働かれていると聞いています。まさに親子2代の山九の父子鷹と呼べるのではないかと思います。

ご本人は高校では陸上競技部(走り幅跳び)に在籍されてインターハイを目指されたスポーツマンです。大学時代は土木を専攻されましたが、入社後はなぜか志望とは異なって機械一筋の会社人生を歩まれています。

また趣味は、オートバイのツーリングでキャンプなどを楽しまれており、近頃は一眼レフを手に入れて写真の勉強もされているようです。聞くところによりますと、ご本人は座右の銘として、「神は乗り越えられる試練しか与えない」ということを生活信条とされています。常日頃から大きな課題(壁)に対して穏やかな態度ながらも、めげることなく「努力は必ず報われる日が来る」という信念でポジティブに取り組んでいらっしゃる姿を拝見しております。まさに頼り甲斐があり、ロータリーの社会奉仕の精神を前向きに実践できる方ではないかと考える次第です。

皆さんとも、楽しくロータリー活動を通して社会に貢献できる人物として、ご紹介させていただきます。



## 退任挨拶

内山 貴美子会長

令和元年がスタートし、9月10月と度重なる台風、年が明けてからは、いまだに続くコロナウイルスで振り返ってみると1年はあっという間に過ぎてしまいました。

今年オリパラの年度になり皆さんでロータリー活動を盛り上げましょう!そして私のテーマである「増やそうロータリーの手」で、二つある一方の手でいろいろな価値、体験、教育等多くのものを吸収し、もう片方の手で吸収した多くの物を皆に与えようと発表しましたが、どれだけ実践したかを振り返ると、私の行動力のなさ、甚大なる台風災害、収束のわからないコロナウイルス等によりあまり満足のいくものではなかったと思います。

皆様にもいろいろと不満や不安な思いをさせてしまったとは思いますが、そこはロータリーの寛大な気持ちでお許し下さい。

しかし会員の皆様のご協力は大変ありがたく、おかげさまで予定していた事業活動については、台風によって中止になった枝豆収穫祭とコロナ禍で中止になった周西中との春の駅前花壇花植え作業以外は実践できました。本当にありがとうございました。

今後例会を続けて行くうえでも変化する毎日の環境に適應すべく例会の形式もオンライン会議の開催やその他いろいろと変わっていくと思います。次年度の荒井年度は十分な準備もできないうちのスタート本当に大変だと思います。でも新しい風を作って今年から来年に繋げていって下さい。

未熟な私が1年間会長として勤められ、勉強できたのも皆さんの寛大なるロータリーの精神とご協力のおかげです。

1年間本当にありがとうございました。



## 荒井 潤一郎会長エレクト

本年度、会長エレクトを務めさせていただきました荒井潤一郎です。

会長を目の前にした1年でしたが、大型台風・新型コロナウイルスの影響で、今までにない、変化のあった1年だったと思います。

エレクトとして、クラブや会員の皆様に何か貢献できた事があるかな?と、考えると、これと言って何も役に立てなかったような気がいたします。

次年度は会長を務めさせていただきますが、これからも色々な変化がある中、皆様と共に、仕事も、ロータリーも、私生活も頑張っていきたいと思っております。

1年間ありがとうございました。



## 武田 富士子幹事

2019・2020年度内山会長の基、幹事を務めさせていただいた武田富士子です。

幹事の役目は、大事なものです。入会4年での幹事職は正直、荷が重いなと感じておりましたがお承けした事で、ロータリーという組織を、会を知る事が出来たのだと思いました。

年間の流れ、やらなければならない事・会の活動に真正面から携われる責任と、皆さんの行動力・寛容など協力で敬服いたしました。感謝です。会長幹事が女性ということで皆様からもご期待頂いたと感じていました。お答えできたでしょうか?この1年はあっという間に過ぎ去ってしまったという思いです。なにしろ激動の1年でした。9月10月の台風災害。被災された会員の方々も多く、事業も天候不慮などで、実行できなかった枝豆収穫。

また、新型コロナウイルスの影響での例会休会が3月より3ヵ月続き、消化不良を起こしています。その中でも職業奉仕の出前教室を見学させていただいた際、出前教室の講師で会員の皆様の真剣で優しい眼、参加した子供たちの興味深い輝いた眼に感動しました。君津RCの出前教室への取り組みは素晴らしいと改めて良い企画だと思いました。

私自身としては、第5グループの情報交換会に参加し「女性目線でのロータリークラブ」と題した発表をさせてもらったこと。他クラブの実態などの発表が聞け



た事はとても良い思い出になりました。また、幹事として千葉へ出向き色々な方とごあいさつ出来たことも良い経験となりました。

1年間あっという間と申しましたが、会長・副会長をはじめ理事の皆様、会員の皆様のご理解ご協力をいただき終了できます事に、深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

## 福田 順也副幹事

今年度、副幹事を務めさせていただきました、福田です。1年間、大変お世話になり、ありがとうございました。

内山会長、中村副会長、武田幹事、荒井会長エレクトの基での副幹事でしたが、9月の台風、そして新型コロナの影響もあり、例会も3分の2しか開催できない状況。あっという間の1年間でした。

年度の当初は副幹事としての実感はなく、過ごしておりました。

しかし、新理事会が開催され、次年度の理事の構成、次年度の予算、事業を決定していく中、副幹事は次年度幹事という要職との事に、実感が湧いてきました。

2015年8月に入会して丸5年近くになります。入会当初は、ロータリーの事を勉強しようと、RYLA(ロータリー青少年指導者養成プログラム)、RLI(ロータリー・リーダーシップ研修会)に参加しました。

副幹事としてのこの1年間は、ロータリーを、違う角度から勉強させていただきました。次年度は、荒井会長の右腕となり、精進して参ります。会員、皆様方のご指導ご鞭撻の程、どうぞ宜しくお願いいたします。

最後に、今年度の理事の皆様、各委員長、副委員長、そして会員皆様、お一人お一人のお陰様で、1年間の活動を終えた事に深く感謝しております。

お世話になりありがとうございました。



## 次年度タイム

「一人はみんなのために・みんなは一つの目的のために」

荒井 潤一郎会長エレクト

### 1. 2020-2021年度

国際ロータリー会長

ホルガー・クナーク

テーマ「ロータリーは機会の扉を開く」

Rotary Opens opportunities

- 1.より大きなインパクトを与える
- 2.参加者の基盤を広げる
- 3.参加者の積極的な関わりを促す
- 4.適応力を高める



### 2. 2020-2021年度 国際ロータリー2790地区

漆原 摂子ガバナー

スローガン「クラブが主役となり、奉仕の理念の実践を！」

- 1.より大きなインパクトをもたらす
- 2.参加者の基盤を広げる
- 3.参加者の積極的な関わりを促す
- 4.適応力を高める

### 3. 2020-2021年度 君津ロータリークラブ活動方針

テーマ「一人はみんなのために・みんなは一つの目的のために」

2020年秋、日本ロータリーは創立100周年になります。また、当クラブは2021年に創立50周年を迎えます。

その節目に当たる50周年に向けて、私たちは今一度原点に立ち返り、次の時代に向けて繋げて行かなければなりません。

原点である、ロータリーの目的「意義ある事業の基盤として奉仕の理念を推奨し、これを育む」に戻り、「他人を思いやり、他人のためになることをしようという考え方」を実践し、4つの戦略的優先事項(行動計画)のローテーションを実践しながら、クラブの向上拡大を図って行きたいと考えています。

「四つのテスト」を基本に、ロータリーのビジョン声明「私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能なよい変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています」の達成に、少しでも近づくことを、みんなで目指し、RI会長のテーマである「ロータリーは機会の扉を開く」を、様々な角度から奉仕の行いを考え、見つけたり、与えたり、与えられたり、奉仕す

る機会の扉を開いていきたいと思えます。

50周年の準備も始まりますが、知恵を出し合った奉仕の精神を継承し、活力と魅力溢れるクラブ作りに皆様と共に、精一杯務めていきますので、ご指導ご鞭撻、ご協力を宜しく願います。

では、次年度各委員長より次年度活動方針について発表して下さい。

なお、内容については次年度活動計画書に掲載いたします。

## ニコニコBOX

内山貴美子 会長退任の挨拶をさせていただきました。皆様、1年間色々ありがとうございました。日野様、入会おめでとうございました。これから共にロータリアンとして頑張りましょう！荒井会員、次年度楽しみにしています！

武田富士子 2019-20年度、内山会長年度最終例会です。この1年間、幹事を仰せつかりましたが、あっという間の1年間でした。かなりの消化不良ですが、また来年度に向けロータリー活動を楽しみます。ご協力ありがとうございました。

荒井潤一郎 今年度、最後の例会となります。内山会長、武田幹事、役員の皆様、お疲れ様でした。

小幡 倅 4月7日記念日のお花ありがとうございました。通常のペースに戻って動けるよう、準備が必要ですね。業務は今年は望み薄すの状況です。内山会長、武田幹事、以下役員の皆様お疲れ様でした。

宮本 茂一 内山会長、武田幹事、理事、役員の皆様、1年間大変お疲れ様でした。"星"3つです！！

黒岩 靖之 日野様、入会おめでとうございました。これから一緒にロータリー活動宜しくお願いします。内山会長、武田幹事、並びに役員の皆様、1年間ご苦労様でした。

廣田 二郎 早いもので、内山年度最終例会です。会長、幹事お疲れ様でした。

大住 昌弘 久しぶりの例会で皆さんと会えて良かったです。程度の差はあれ、事業として厳しい局面にはありますが、お互い何かできることがあれば、依

	頼し、提案し合って頑張ってください。		しぶりで楽しかったです。
伊藤 彰	本日で2回目の出席となります。まだまだ慣れておりませんが、宜しくお願い申し上げます。	村上 進	皆さま、こんにちは。日野様、君津ロータリークラブへようこそ。暑い日が続きますが、体調管理に気を付けます。次年度、社会奉仕委員会の皆さま、宜しくお願いします。
芝崎 均	日野会員、入会おめでとうございませす。退任される役員の方皆さん、1年間ご苦労様でした。	福田 順也	これからもロータリー活動頑張ります。
隈元 雅博	山九(株)君津支店長 日野千博様、本日は例会にお越しいただき、ありがとうございます。また、本日も入会いただきました日野様、ようこそ君津ロータリークラブへ。我々も世の中も大変な時期ですが、困難な時だからこそ力を合わせ、地域の為、世界平和の為、共にロータリー活動を頑張ってください！	日野 千博	新参者ですが、少しでも早く皆さんのお役に立てるように努力いたしますので、宜しくお願いいたします。
		谷口 弘志	本日は、新入会員の日野さんの紹介をさせていただきました。今月、入会された5名の新入会員の皆さん、これからのロータリー活動を共に頑張りたいと思います。
梶山 健次	一步一步、コロナ禍から回復しつつありますが、在宅勤務から解放された職員の笑顔を見るとホッとします。今迄の生活様式が懐かしく感じますが、引き続き新様式に慣れていきたいものです。	平野 寛明	コロナに気を付けて活動頑張ります。
		宮崎 慎	日野様、入会おめでとうございませす。共にRC活動頑張りたいと思います。
佐々木昭博	内山会長、武田幹事、1年間お疲れ様でした。	秋元 政寛	日野会員、ご入会おめでとうございませす。これから宜しくお願いします。
岡野 祐	内山会長、武田幹事、お疲れ様でした。各理事、委員会の皆さまもお疲れ様です。次年度も宜しくお願いいたします。	遠田 祐治	毎週末、今年は特にすることもないので、草取りをしていました。おかげで今年の庭の芝生はとても綺麗です。
永嶋 嘉嗣	内山会長、武田幹事、1年間どうもご苦労様でした。	秋元ゆかり	日野さん、入会おめでとうございませす。ロータリー活動共に頑張りたいと思います！
倉繁 裕	本日は、19～20年、内山会長年度最後の例会ですが、内山会長はじめ皆さまお疲れ様でした。新型コロナとの闘いは、"With コロナ"として、生活面、仕事面での工夫をしながら、形を作り上げていくことになりそうですが、引き続き、皆さまご自愛ください。	大浦 芳弘	次年度、公共イメージ向上委員会で委員長という大役を務めさせていただきます。微力ながらロータリーのイメージ向上に精一杯頑張りますので、宜しくお願いします。
		大木 建樹	会長および役員の方皆さん、1年間お疲れ様でした。日野会員、入会おめでとうございませす。
内山 雅博	日野さん、これから宜しくお願いします。今年度最後の「四つのテスト」ありがとうございました。君津に残留希望です！	中野 賢二	マスク、暑いですねえ。スポーツメーカーやイオン、ユニクロで清涼マスクを出していますが、色々ネットで調べてメンソールタイプを探そうと思っています。マスク着用の工事現場もあるそうで、当社の社員はもっと大変だと思います。
別府 明人	本日が今年度最後の例会となりました。内山会長をはじめ、皆さまお疲れ様でした。	篠塚 知美	日野会員、ご入会おめでとうございませす。これから宜しくお願いいたします。内山会長はじめ役員、理事の方皆さん、1年間お疲れ様でした。あまり力になれず、申し訳ございませす。
大森 俊介	内山会長、武田幹事、1年間大変お疲れ様でした。日野様、これから宜しくお願いします。		
大森 敏隆	先週、仲間と飲み会をしました。久		

せん。ロータリークラブに参加して  
いけるよう、コロナ禍に負けないよ  
う、経営基盤を立て直ししていきま  
す。

- 坂本 直樹 日野会員、ご入会おめでとうござい  
ます。これから宜しく願いいたし  
ます。また、私事ですが、先週の金  
曜日、第3子の女の子が生まれまし  
た。母子ともに健康でこの上ない父  
の日のプレゼントとなりました。
- 谷 浩司 本年度最後の例会という事ですが、  
実感が無いですね。その分、来年度  
と2年分の気持ちで頑張ります。
- 高橋 雄一 会長はじめ幹事、役員の方さま、1  
年間お疲れ様でした。令和2年、元  
年と良いことも悪いこともあります  
が、これからは色々考えながら精進  
していきたいと思えます。1年間あ  
りがとうございます。

#### 今年度出前教室ご紹介

テーマ「知ってそうで知らない？鉄のすごさ！」

日本製鉄株式会社君津製鉄所  
総務部長 楠原 義章会員

職業奉仕委員会活動の一環として、昨年12月  
と今年1月及び2月の計3回、市内の小中学校での  
出前授業に参加させていただきました。

タイトルを「知ってそうで知らない？鉄のすご  
さ！」と銘打ち、鉄の歴史に始まり鉄鋼製品の原  
料や製造方法、その特性などについて、動画やクイ  
ズ、実際にモノに触れていただく等の工夫も凝らし  
ながら、1時間に亘り講義させていただきました。

自分も含めて、普段擦れた大人たちに囲まれて生  
活をしている身にとって、生徒たちの真剣な眼差し  
や学びの姿勢を非常に新鮮に感じると共に、こうい  
う子供たちの明るい未来のために我々大人が何をす  
べきなのかということについて、考え直すきっかけ  
となりました。

また、人に物を教えることの難しさ、特に知識レ  
ベルに圧倒的な差がある相手とのコミュニケーション  
に際して何が重要かといった点についての気づき  
も得ることが出来ました。

今回は会員である私が自ら講師として登壇いたし  
ましたが、こういう貴重な経験は私よりもっと若  
い人に積ませるべきだと思に至りましたので、次年  
度は部下に講師をさせたいと思えます。

#### テーマ「病院で働く人」

玄々堂君津病院  
根本 亮様

今回、玄々堂君津病院は『病院で働く人』をテー  
マとしてお話をさせていただきました。

私自身、普段は医事課で仕事をしておりますので  
受付や会計、請求などを行っております。

ただ今回は『病院で働く人』がテーマですので、  
どうしたら小学生、中学生に楽しく分かり易く各職  
種を紹介できるか？を考えました。

まず、初めに3名の患者さんの受診例を作成しま  
した。

- ①転んで頭をぶつけて血だらけで来院した患者さん
- ②高熱、咳が続き呼吸が苦しい患者さん
- ③血圧が高い患者さん

この3名の患者さんが受診をする際に関わる医療  
従事者を対象として、合わせて11種類の職種につ  
いて説明をしました。

例えば、頭をぶつけた患者さんにはCT検査など  
を担当する『放射線技師』についての説明をした  
り、血圧が高い患者さんに栄養指導をする『栄養  
士』についての説明を行ったりしました。

もちろん文章だけでは分かりづらいので、その場  
面に合った写真を他部署の人たちにも協力してもら  
い撮影しました。

DVDや写真を見ながら説明した事によって、学  
生たちにも理解してもらえたと思います。

最後に実習として電話トレーニング機器を使って  
電話対応の練習を行いました。この機械は実際に職  
員が入職後に使用しているもので、お互いの声を録  
音して後で聞くことが出来ます。

ここでは、インフルエンザの予防接種をしたい患  
者さんが病院に問い合わせをするというシチュエー  
ションで患者さん役と医事課職員役に分かれて実習  
を行いました。

『普段私たちが電話対応をする上で気を付けてい  
る事』や『電話で顔が見えない人に対する話し方』  
などをアドバイスすると学生たちは楽しみながらも  
真剣な面持ちで練習してくれました。

最後に伝えたかった事として、学生たちが医療に  
携わらなかったとしても『思いやりの心』『コミュ  
ニケーションと言葉の大切さ』を持って自分の道に  
進んで欲しいと伝え授業を終わらせていただきまし  
た。

今回のように子供たちが職業を知る機会は少ない  
と思えますのでとても素晴らしい活動だと感じまし  
たし、またそのような活動に参加させていただいた  
事に感謝をしてご報告とさせていただきます。

## テーマ「秘 チャーハンの作り方」

ホテル千成  
坂井 佳代子会員

ホテル千成で実際に使っている材料を使って、料理長が作って見せ、その後生徒さんに1人ずつ自分で作ってもらいました。

2人1組になり、1人が作っている時は1人がサポートし、具材や調味料を入れるタイミングをアドバイスします。

事前準備の大切さを学び、同じ材料でも火加減やタイミングで、出来上がりが違うことを体験し、料理の面白さや難しさを知ってもらうことが授業の目的です。

自分で自ら作ることに共に、他の人に食べていただく喜びや、具材や調味料を工夫することで違う料理や味になり、料理をする喜び、楽しさを知って「衣・食・住」の食の大切さを学んで欲しいと思います。

今回は、生徒の皆さんの手順も良く後片付けもスムーズに終わり時間内に終了することが出来ました。

## テーマ「水をきれいにする仕事」

日鉄環境(株)  
黒川 璃弥様

この度は「水をきれいにする仕事」をテーマに、周西小学校、周西中学校、八重原中学校の3校へ出前授業するという大変貴重な機会を頂き、誠にありがとうございました。

私は昨年度に続き2回目の出前授業となりましたが、子供たちの目線となって教えることの難しさを改めて実感したとともに、子供たちの純粋な視点や疑問を受け、自分としても発見が多い大変貴重な経験となりました。

本授業では毎年、講義と実験の2つを実施しており、私は今年講義を担当しました。昨年実験を担当した際は、子供たちと一緒に楽しみながら授業を行いました。講義はどうしても一方的になってしまいます。その為、退屈な授業にならないように、少しでも親近感や興味を持ってもらえるように、身近なところで具体例を出したりクイズを用意したりして工夫を凝らしました。しかしそんな不安を吹き飛ばすかのように、子供たちは真剣にそして笑顔で授業を聞いてくださり、こちらもリラックスして講義をすることが出来ました。今回本授業を受講して下さった子供たちには本当に感謝申し上げます。ありがとうございます。

授業の最後には質疑応答の時間を設けており、今回もたくさんの疑問をいただきました。水に関することであったり、仕事に対することであったり様々で、中には「水道水とペットボトルの水はどちらが好きですか」という実に純粋無垢な質問も頂き、余談として、水は含まれる成分(硬度)によって味や感じが違うので、水道水は地域や地方、ペットボトル水はメーカーによって違いが楽しめるよ、と話しました。子供たちからも「試してみたい!」という声をたくさんいただけたので、是非自分自身で違いを感じてもらい、「面白い!」と感じて頂ければ嬉しいです。また仕事に関する質問については、私たちの回答が子供たちにとって何かヒントになっていれば幸いです。

最後に、子供たちからいただいた手紙には、お礼と共に「今回の授業を受けて水に対して興味が持った」「これからは水を大切に使いたい」「将来はこのような仕事に就きたい」といった嬉しい言葉の数々が綴られており、今回の講師陣にとっても今後の良いモチベーションになったのではないかと思います。またこのような素敵な機会をいただけることがあれば是非、子供たちと一緒に「水の大切さ」について学びたいと思います。この度は誠にありがとうございました。

## テーマ「電気をつくる仕事」

君津共同火力(株)  
原田 健夫会員

今回の出前教室では冒頭に昨年9月の台風に触れ、停電の影響で大変だった事などを生徒さん方に問いかけ、電気の無い生活が不便である事、電気が生活するのに必要なエネルギーで有る事を再認識していただきました。

その後の会社紹介では会社PRの他、実際の発電設備についての説明をさせていただきましたが、スクリーンに映した画像だけではなく、カセットコンロと三角フラスコに蒸気タービンと発電機を繋げた簡単な自作の火力発電機の模型を使用し、カセットコンロの火で作られた蒸気が三角フラスコから吹き出し、蒸気タービンを回転させる様子を見ていただく事で、火力発電所ではどのようにして電気を作っているのかを実演させていただきました。

会社紹介の次に、私たちの生活の中で電気がどのような場所で使われているのか、電気というエネルギーが日常生活の中で照明・熱・動力と成っている事、電気が様々なところで使われている事と合わせて、電気エネルギーの長所・短所について説明いたしました。長所としては入り・切り・調整がしやす

い事や数十km以上先にも送る事が出来る事、短所としては電気が貯められない事や電気が目に見えない事を乾電池や稲妻を例に説明すると、生徒さん方だけでなく同席されていた先生方や保護者の方も驚かされていました。

電気の作り方を説明した際に行った1つ目の実験では、プラスチックの筒に銅線を巻き、筒の中に磁石を入れた実験器具を使用し、筒の中の磁石が右へ左へと移動させる事で電気を作る体験をしていただきました。この体験の中では小さなLEDで有っても、やり方次第では点灯させるのが大変な事を学んでいただきました。

2つ目の実験では手回し発電機にLED電球を複数個繋ぎLED電球1個の時と比べLED電球6個の時では、手回し発電機が回りにくい事を体験していただく事で、日常生活で電気を使うときに電線の先でどの様な事が起こっているのか体感していただきました。

最後の質疑応答では会社の勤務時間や静電気の発生原理等の幅広い質問を受け、講師陣でも説明が困難な質問も有りましたが、電気というものについて今まで以上に理解していただけたと思います。今回行った実験では、先生や保護者の方にも参加いただき、発電事業について理解して頂くと共に電気の大切さを認識していただけたと思います。

## テーマ「製鉄所内のエコな仕事」

(株)テツゲン  
遠田 祐治会員

今年は「製鉄所内のエコな仕事」と題し、八重原中に尾棹、駒澤、藤平の3名、周西小には地引を加え4名という体制で臨みました。鉄を作る際に発生する副産物を有効に活用する当社の取り組みの紹介に加え、実際に一人ひとりセメントを練って、キャンドルポットとコースター作りに挑戦してもらいました。

毎年、セメントの硬さや固まる時間の調整が難しいのですが、今年は事前実験を重ね比較的スムーズにセメント練りから型抜き、タイルを使った装飾まで体験してもらうことができました。

当社の取り組みの紹介への質問以外でも、初めてセメントを扱った生徒からは、「固まるときにセメントってあったかくなるんだ」など当方が予想していなかった反応を得ることができ、とても新鮮に感じました。また来年チャンスがあれば、今年の経験を活かし、より分かりやすい講座にしたいと思いません。

## テーマ「情報通信技術と建設業」

(株)宮本組  
執行役員支店次長 山崎 秀樹様

講座内容：

ドローンを活用した上空からの画像情報や、その他の情報通信技術を活用した重機オペレーター等の最新の建設業を紹介。

実際に行った内容：

- 1.パワーポイントを使用して会社の概要を説明。
- 2.ビデオを使用して建設機械の機種と役割について説明。
- 3.パワーポイントを使用して情報通信技術(ICT)について説明。
- 4.グラウンドにてドローン飛行見学と写真撮影を体験。

感想：

私は、今年度初めて講師として出前教室に参加させていただきました。

どのように説明すれば、よりわかりやすく、楽しく、子供たちの将来の役に立つ出前教室ができるのかを考え、内容を吟味して準備しました。今年度は出前教室に3回参加させていただきましたが、毎回、子供たちが各自でメモを取りながら真剣に話を聞く姿が印象的でした。私もこの出前教室で講師として、子供たちと一緒に勉強させていただき、また子供たちにとっても有意義な時間が過ごせたかなと思いました。

最初に宮本組はどのような会社なのか、大型建設機械を駆使してどういう仕事をしているのかをパワーポイントとビデオを使用して説明しました。建設機械がどういう動きをするのかを説明すると子供たちは驚き、普段見る事の出来ない機械について非常に興味を示してくれました。

次に情報通信技術についての説明ですが、わかりやすく丁寧の説明することで、食い入るように話を聞き、疑問が生じたことについて、積極的に質問をしたり話し合ったりしました。

最後にグラウンドで実物のドローンの飛行見学とコントローラーを使用しての写真撮影を体験していただきました。こちらが私が思っていた以上に好評で飛行状況を楽しんで見学し、子供たち自ら操作することで実体験は非常に楽しんでくれました。

子供たちからのお礼の手紙では、「情報通信技術を使うと安全かつスムーズに掘りすぎないように仕事ができることを聞いてびっくりした」「人工衛星の話は興味があった」「大きな建設機械と情報通信技術が身近に感じ、楽しかった。丁寧な説明でわか



りやすかった」「ドローンでカメラを見ながらの操作、写真撮影が貴重な体験になり楽しかった」「情報通信技術を将来に活かしたい」「社会のために大きな仕事をして人の役に立っていることを学んだ」などの感想文をいただき、子供たちにとって貴重な時間が得られたこと、建設業に興味を持ってくれたことをうれしく思いました。そして子供たちが働く事の意味を少しでもわかっていただければ幸いです。私自身も、子供たちと接することで多くのことを学ぶことができました。

出前教室に参加した子供たち全員が、出前教室で学んだことをこれからの進路や将来の夢に繋げられることを切に願います。最後に出前教室に関わった方々及び先生、子供たちに感謝申し上げます。



## テーマ「溶接でスクラップロボをつくろう」

(株)協立工業  
中野 賢二会員

当社の出前教室も今年で3年目になりました。好評により今年も引続き『溶接でスクラップロボをつくろう!』という題名で、溶接の講義と実演を行いました。

第一授業は教室にての座学ですが、いつも時間が足りなくなってしまうので、今回は資料をもっと詳しく作成して、先に配っておきました。待っている間に目を通してもらえるように、良くある質問と回答の他にも、子供達が興味をひきそうな豆知識やおもしろい話の付録も付けておきました。教室に私が到着すると付録の話で生徒達は、すでに盛り上がっていましたので、緊張も無くスマートに授業に入る事ができました。

まずは、当社の営業品目であるプラント建設工事のプラントとは何なのかを教えました。千葉県は、2つの巨大製鐵所と国内最大級の石油コンビナートや発電所、水処理場、焼却炉等のプラントが最も多い県である事。そして、それらに従事している人も他の県と比べ物にならないほど多い事を話しました。そして、プラント建設工事とはどういう仕事なのか、そこで溶接がどのように活躍しているかを教え

ました。

そして溶接の仕組みや種類と特徴、どこで使われているかを説明しました。自分たちの身の周りでも色々な構造物や乗り物が溶接で出来ている事を教え、子供達は興味深そうに話を聞いてくれました。

その後、実際に工場の残鋼材や機械部品で作ったスクラップロボットを子供達に直接手にとって見てもらいました。2点しか溶接していないのに丈夫で、持った時のあまりの重量感に子供達は盛り上がりました。

第二授業は、いよいよ屋外で溶接の実演です。テーブルの上にロボットの胴体と頭部、その他のパーツが並んでいるのを見て、子供達がワクワクしてきたのが解りました。子供達にクジを引かせて、1番の子から順に胴体と頭を選ばせました。座学の時におとなしかった子どもこの頃には、どれを選ぶかで大賑わいでした。子供の指示通りに頭を溶接してやって、その状況をテレビモニターで見学してもらいました。

後は時間まで、早い者勝ちで色々なパーツを取付けていきます。パーツには様々な武器やロボットに付ける羽、シippo、ペットの犬、ハートマーク、タケコプター等の飾りがあります。途中で、持って帰りたい子は、家に持って帰って良い事を伝えると「本当にいいの?!」と歓声があがり、ほとんどの子が持ち帰りを喜んでいました。

最後に出来上がったロボは個性たっぷりです。色々な部分が動くロボットや武器だらけの戦闘型、まぬけな格好のロボ等を見ると生徒達の性格が解るようです。毎回思うのですが、女の子の参加者が多く、大きな剣やロケット砲等を付けて、豪快なロボットを作るのは男子よりも女の子の方です。また、将来は溶接等を身につけて、プラント建設現場のような場所で働きたいかと尋ねると、手を上げるのも女の子です。

授業が終わった後は、数日後に届く子供達の感想文が楽しみです。例年どおり、お礼や感動した事、将来やりたい職業等が多かったですが、今年は付録資料が面白かった事やジュゴンとマナティーの違いが分かって嬉しかった等の子供らしい感想が多かったです。授業は楽しくなければいけないと思うので、来年はもっと面白い資料を増やしてやろうと思います。

## テーマ「磁気の不思議」

三島光産(株)  
川野 広忠様

今回、周西中学校及び八重原中学校にて開催された出前授業に講師として参加させていただきました。「磁気不思議」というテーマで授業を行い、出前授業参加は4年目となります。

授業内容は、磁気の説明や地球が大きな磁石であることなど、理科の復習といった内容から、切符やモータなどに磁気利用されていることを説明し、目には見えませんが、磁気は身近に存在し、様々な用途で利用されていることを紹介しました。

まず環境磁気ノイズを打ち消すことができる「磁場キャンセラ」という装置を紹介し、次に「磁気探査装置」という金属探査に使用される装置について、ターゲットを専用フィールドに隠し、それを探査し発見するゲームを行い、楽しみながら磁気探査という仕事を紹介しました。そして、実際の磁気探査装置は、沖縄県などで不発弾探査等に使用されており、いまだに第二次世界大戦時の不発弾が年間数十トンも発見、処理されていることを伝えました。

この授業によって磁気は様々な用途に利用されていること、それを計測、管理する仕事があることを学んでいただけたかと思います。

また私たちにとっても、君津ロータリークラブの出前授業に参加することは、企業による地域社会への貢献を実際に体験できるとても良い機会であり、若手を中心に講師を経験させています。

この活動に参加する機会を与えていただいた、君津ロータリークラブ様に感謝申し上げます。ありがとうございました。

## テーマ「クレーン車って何？」

木信産業(株)  
黒岩 靖之会員

周西小学校の6年生(男子6名、女子6名)12名へ授業を行いました。

例年と同じく、クレーン車の種類・大きさ・構造・機能・どんな仕事に使用されているかを説明したあとグラウンドに出て、実物のクレーン車を動かし、運転席へ乗って計器類を見て触ってもらいました。

教室に戻って今回新たに、クレーン車ができるまでの、市場調査・企画・設計・試験・生産・発売・商談・納車・サービス等の各仕事について映像を交えて説明し、町で見かけるクレーン車はこのような様々な仕事連携し合って作られていることを分

かっていただけたと思います。最後に今日の説明に関するクイズをしてもらいました。

私どもの授業では、グラウンドにクレーン車を持ちこませていただいている事で、生徒の皆さんに実際の動きを見てもらったり、運転席に乗ってもらい計器類を見てもらうことが一番良かったのでは思っています。

感想文の中でも、多くの生徒さんがその事を書いてくれました。やはり子供たちには、実際に見てもらい、触ってもらったほうが色々な事を感じてもらえるものと思います。

子供たちは無限の可能性を持っていると思います。これから先、勉強・スポーツ・音楽など何でも構わないので、自分の好きなもの、得意なものを見つけて、将来の夢をもち、それが実現できるように進んでいってほしいと感じました。

## テーマ「情報技術を使った設計の仕事」

日鉄テックスエンジニア(株)  
大下 純矢様

### 1. 授業内容

3DCAD、VRによる設備設計の様子を紹介を通して、設備設計という仕事について様々な角度から見て、体感していただく。

### 2. 講師所感

今回、出前教室という、キャリア教育の一環として子供たちの前で事業内容をご紹介させていただく機会を与えていただき、感謝申し上げます。機械、電計、建設といった業種は、詳しい仕事内容を理解する機会が少ないことから、中々若い頃から自分の将来の仕事の選択肢として考えにくい職種でもあります。

特に弊社は、機械、電計、建設、操業など、各部門を保有し、部門間で連携してエンジニアリング、工事、保全、操業を一貫して行い、お客様の要望に応える総合エンジニアリング企業ですが、その中でどうすれば子供たちに楽しく、わかりやすく講義ができるのか、最も効果的な手段は何かと検討した結果、子供たちを飽きさせないこと、自然と興味を惹かれるような講義内容にすることの2点が重要だと考えました。

そこで、弊社の業務で使用していた2種類のVR及び3DCADを用い、子供たちが実際の現場の一端を見て、聴いて、触れることができるようにすることで、飽きの来ない講義を計画いたしました。

講義では始めに子供たち全員にスマートグラスを着用してもらい、そこにパワーポイントを投影して座学を行うことで、子供たちの心を惹きつけ、講義

に興味を持っていただけるよう、工夫をいたしました。

講義後には、生徒の皆さんから「ちょっと酔ったけど、楽しかった」「工事の仕事が、私達の生活に欠かせないことが分かった」等の感想をいただき、今回の出前教室を通じて、工事、整備といった仕事について興味を持っていただくと同時に、子供たちの視野を広げるお手伝いが出来たと感じております。

今後とも様々な場面で、未来ある子供たちの成長、ひいては地域の発展にご協力させていただければと思います。この度は誠にありがとうございました。

